

減量リサイクル率総括表【記入例】

令和 7 年度県外産業廃棄物の搬入に係る産業廃棄物処理施設における減量リサイクル率について、下記のとおり提出します。

記

いずれかを選択
「ない」を選択した場合は、以降は
記載不要

- ・ R7 年度に県外から産業廃棄物を受け入れる予定が ある ない
(受入予定がない場合は、以降は記載不要です)

| 産業廃棄物処理施設の種類、設置場所 | 減量リサイクル率 |
|--------------------------------|----------|
| 廃プラスチック類の圧縮固化施設 大分市高江西2丁目8番 | 70% |
| 木くずの破碎施設 大分市高江西2丁目8番 | 99% |
| | |
| | |
| | |

- 添付書類 (1) 減量リサイクル率算定表 (処理方法ごとに別葉)
(2) 処理方法の概要 (既存資料で可)
(3) (特別管理) 産業廃棄物処分業許可証の写し

令和 6 年 11 月 1 日

受け入れる産業廃棄物の種類、処理の方法、処理後の物の行き先等がわかるもの

住所 大分市大手町 3 丁目 1 番 1 号

氏名 ○○株式会社
代表取締役 ○○ △△

電話番号 XXX-XXX-XXXX

FAX 番号 XXX-XXX-XXXX

メールアドレス xxxxxxxx@xx.xx.xx

事前協議が成立した事業者のリストを送付しますので、送付先を記載してください。

減量リサイクル率算定表【記入例】

① 処理施設設置者名： ○○株式会社

② 処理施設所在地： 大分市大手町3丁目1番1号

処理施設の所在地を記載
※法人住所ではありません。

③ 電話番号： 097 - 506 - 3129

④ FAX 番号： 097 - 506 - 1748

⑤ 担当者名： 大分 太郎

処理方法等を記載
(選別、圧縮、破碎等)

⑥ 処理の方法： 中間処理 (廃プラスチック類の圧縮固化)

⑦ データの期間： 令和5年10月から令和6年9月まで

原則直近1年間の
データから算定

⑧ 処分する前の県外産業廃棄物の種類と量 (受入れ)

| 県外産業廃棄物の種類 | 量 (トン) |
|----------------------------------|---------------------|
| 廃プラスチック類 | 500 |
| 受け入れた県外産業廃棄物の「種類」を記載 | 受け入れた県外産業廃棄物の「量」を記載 |
| 産業廃棄物処理施設等に搬入された県外産業廃棄物の重量合計 (B) | (500) トン |

⑨ 県外産業廃棄物を中間処理した後の産業廃棄物の種類と量

| 産業廃棄物の種類 | 量 (トン) |
|-----------------------------------|------------|
| 廃プラスチック類 | 150 |
| 処理後に発生した不要物(産業廃棄物)について記載 | |
| 搬入された県外産業廃棄物を中間処理した後の不要物の重量合計 (C) | (150) トン |

【減量リサイクル率の算定】

| | |
|---------------------------------|------------|
| 産業廃棄物処理施設等に搬入された県外産業廃棄物の重量 B = | (500) トン |
| 搬入された県外産業廃棄物を中間処理した後の不要物の重量 C = | (150) トン |

減量リサイクル率 A = $(B - C) \div B \times 100$

$$= (500 - 150) \div 500 \times 100 = 70$$

| | |
|--------------|----------|
| 減量リサイクル率 A = | (70) % |
|--------------|----------|

*減量リサイクル率の小数点以下は切り捨てる

受入量及び処理後の廃棄物量については、マニフェスト等に基づき、正確に記入してください。別途、根拠書類等をご提出いただく場合があります。